



ボスニア・ヘルツェゴビナ (Bosnia and Herzegovina)



- ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)への援助総額は2014年までに累計540億円。
- 1995年以降、基礎インフラ、農業、通信、運輸、医療、教育、地雷除去等の分野で支援を実施。
- 現在は、円借款、技術協力、草の根無償資金協力を組み合わせながら、平和の定着・民族の和解、環境に配慮した持続可能な経済成長を重点分野として支援を実施。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 51,000平方キロメートル(中国・四国地方とほぼ同じ)
- ・人口: 353万人(2013年, 国勢調査)
- ・首都: サラエボ
- ・民族: ムスリム系(50.1%), セルビア系(30.8%), クロアチア系(15.4%)
- ・言語: ボスニア語, セルビア語, クロアチア語
- ・宗教: イスラム教, セルビア正教, カトリック
- ・政体: 共和制
- ・議会: 二院制(上院15議席, 下院15議席)
- ・GNP: 185億ドル(2014年, 国連統計部サイト)
- ・一人あたりGNI: 4,844ドル(2014年, 国連統計部サイト)
- ・経済成長率: 1.2%(2013年, IMF)
- ・失業率: 27%(2013年, IMF)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

14世紀	ボスニア王国設立
1463年	オスマン帝国によるボスニア制服
1878年	オーストリア・ハンガリー帝国支配下の一州となる
1918年	セルビア人、クロアチア人、スロベニア人王国となる(後にユーゴスラビア王国と改称)
1945年	ユーゴスラビア連邦の構成共和国となる
1992年	独立を問う住民投票実施
1992年	本格的紛争に突入
1995年	Dayton 和合意締結(紛争終結)
2008年6月	EUと安定化・連合協定に署名
2015年6月	安定化・連合協定発効
2016年2月	EU加盟候補国申請

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	167.43億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	308.18億円 (2014年度末時点)
技術協力	66.07億円 (2014年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

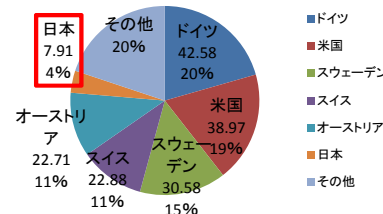
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からボスニア・ヘルツェゴビナへの輸出	921億円 (2015年度, 財務省)
ボスニア・ヘルツェゴビナから日本への輸出	819億円 (2015年度, 財務省)
在ボスニア・ヘルツェゴビナ日系企業数	5社 (2014年, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ボスニア・ヘルツェゴビナにおける在留邦人数	38人 (2014年, 外務省)
在日ボスニア・ヘルツェゴビナ人数	28人 (2015年, 法務省)
ボスニア・ヘルツェゴビナから日本への留学生数	12名 (2015年, JASSO)



日本とボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)との協力年表

年代	案件
1996年1月	BHを国家承認
1996年2月	外交関係開設
1996年7月	池田外務大臣のBH訪問
1997年-	和平履行評議会運営委員会(PIC)の主要メンバーとして、BHの和平履行を支援する国際社会の枠組み「上級代表事務所(OHR)」の運営経費の10%を継続的に負担
1998年4月	小渕外務大臣のBH訪問
1998年9月	円借款「緊急電力整備事業」への署名(供与限度額: 41.1億円)
1999年1月	駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館開設
2000年6月	一般無償「地雷除去活動機材整備計画」(供与限度額: 3.72億円)
2001年5月	一般無償「初等学校建設計画」(供与限度額: 9.92億円)
2001年7月	一般無償「モスタル市公共輸送力復旧計画」(供与限度額: 7.69億円)
2002年7月	一般無償「地域密着型リハビリセンター整備計画」(供与限度額: 5.93億円)
2002年8月	一般無償「初等学校建設計画(第二期)」(供与限度額: 10.89億円)
2003年8月	一般無償「オサニッチャ橋及びボガティチ橋改善計画」(供与限度額: 4.91億円)
2004年4月	イパニッチ外務大臣訪日
2004年5月	一般無償「ドボイ橋及びモドリッチャ橋建設計画」への署名(供与限度額: 10.23億円)
2004年11月	一般無償「第三次一次医療施設医療機材整備計画(第一期)」(供与限度額: 6.08億円)
2005年8月	テルジッチ閣僚評議会議長(首相)訪日
2005年12月	一般無償「第三次一次医療施設医療機材整備計画(第二期)」(供与限度額: 6.08億円)
2007年9月	一般無償「道路維持管理用機材整備計画」(供与限度額: 8.44億円)
2008年1月	在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館開設
2009年10月	アルカライ外務大臣訪日(外務省賓客)
2009年10月	円借款「ウグレヴィツク火力発電所排煙脱硫装置建設計画」への署名(供与限度額: 126.33億円)
2013年9月	ベチロビッチ下院議長訪日
2014年5月	BHにおける洪水被害に対する緊急援助の実施(1,000万円相当の緊急援助物資を供与)
2014年8月	伊吹衆議院議長のBH訪問
2016年10月	岸副大臣のBH訪問

紛争後の市民の足を確保するため、モスタルの他、サラエボやニャルカでもバスの供与を実施。写真は市民に親しまれる黄色いバス。



紛争により、損傷を受けた橋の架け替えを実施。完成後は、積載量が20トン以上の車両も迂回する必要がなくなり、市民の生活や物流が改善。写真はドボイ橋の渡り初め。



BHからの初の議会議員の訪日。伊吹衆議院議長との会談や友好議連との会談を通じ、議会・議員間交流を促進。

BHで発生した洪水被害を受けて、テントやスリーピングバッド等の物資を供与。写真は緊急援助物資の荷下ろしの様子。



岸副大臣は、平成26年度草の根文化無償資金協力「スポーツ活動を通じた地域融和のためのモスタル市スポーツセンター改修計画」(約2,900万円)の引渡式に出席。異なる民族の子供たちがスポーツを通じて交流するための場を提供。

